


1. 総論

【総括判断】

「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある」








項目	前回 (2年1月判断)	今回 (2年4月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに拡大しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	

(注) 2年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は百貨店販売や旅行取扱等を中心に急速に減少しており、生産活動も電気・情報通信機械等が低下しているなど減少している。雇用情勢は改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回 (2年1月判断)	今回 (2年4月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している	
生産活動	回復のテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している	
雇用情勢	一層の改善が進んでいる	改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	
設備投資	元年度は前年度を上回る見込みとなっている	元年度は前年度を上回る見込みとなっている	
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	元年度は減益見込みとなっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年並みとなっている	
輸出	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響による極めて厳しい状況が続く見込みであり、さらなる下振れリスクにも十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

## 2. 各論

### 【主な項目】

#### ■ **個人消費** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している」

百貨店・スーパー販売は、スーパーでは飲食品や日用品等の売上が増加しているものの、百貨店では感染症の影響から、内・外国人ともに、客数・売上が足下で急速に減少している。

コンビニエンスストア販売は、冷凍食品等の需要は堅調なもの、感染症の影響から観光地などの店舗では客数が足下で急速に減少している。

ドラッグストア販売及びホームセンター販売は、日用品や食料品の売上が増加している。

家電販売は、テレビやパソコンの買替需要、白物家電の新生活需要等は堅調なもの、感染症の影響から客数が足下で急速に減少している。

乗用車の新車登録届出数、前年を下回っている。

旅行取扱の状況は、感染症の影響から足下で国内旅行、海外旅行いずれも急速に減少している。

- 感染症拡大防止のため、催事を中止又は縮小し営業時間も短縮。2月以降、国内客の外出自粛やインバウンド減少の影響が大きく、客数の減少に伴い売上が大幅に落ち込んでいる。(百貨店・大企業)
- 感染症の影響で外出自粛ムードが高まったことに加え、臨時休校や在宅勤務の増加の影響から巣ごもり需要が増加。米・飲料・カップ麺などの食品や日用品が特需的に売れた。(スーパー・大企業)
- 2月以降、感染症の影響でマスクや除菌グッズに客が殺到したほか、日用品の買いだめも発生し売上が増加。3月は臨時休校や在宅勤務の広がりもあって、郊外店舗で食料品や日用品がよく売れた。しかしながら、一部商品で供給不足が生じており、足下では売上の伸びが鈍化している。(ドラッグストア・中堅企業)
- 在宅勤務の増加からパソコンなどの売上が増加しており、新生活準備に向けた白物家電の受注も堅調であるものの、メーカーの生産減少から一部商品の仕入れが停滞しているほか、都市部の店舗を中心に外出自粛による客数減少の影響が大きくなっている。(家電量販店・大企業)
- 感染症の影響により個人向けの受注が減少しているほか、不急の点検整備を見合わせる動きがみられている。法人向け受注はインバウンド関連企業を中心に需要が減少している。(自動車販売店・大企業)
- 世界的な渡航制限の影響から海外ツアーが中止になるなど、海外旅行客が大幅に減少。国内旅行も出張自粛やテーマパーク休園の影響が大きくなっている。(旅行代理店・大企業)

#### ■ **生産活動** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している」

鉱工業指数(生産)でみると、輸送機械などが上昇しているものの、感染症の影響による部品供給の停滞や需要の落ち込み等から、電気・情報通信機械などが低下しており、生産活動は減少している。

- 感染症の影響で中国からの部品調達が滞り、一部製品において生産ができずに在庫切れや出荷遅れが発生しているほか、受注を止めているものもある。(電気機械・大企業)
- 感染症の拡大により国内外ともに経済活動が停滞しており、中国向け輸出が大幅に減少するなど、住宅向け及び自動車向け塗料等の製品需要が悪化している。(化学・中堅企業)
- 特に3月以降、感染症に起因する外食需要減による飲食店での酒類売上の減少や、外出控えによる自動販売機売上の減少などの影響が出ている。(食料品・大企業)
- 感染症が拡大する中、3月までは部品調達に影響はなく、販売についても落ち込みは見られなかったが、4月以降は外出自粛などに伴う受注・生産・販売の減少など影響が出てくるとみている。(輸送機械・大企業)

#### ■ **雇用情勢** 「改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる」

有効求人倍率は高水準で推移し、完全失業率も低水準で推移するなど、雇用情勢は改善しているものの、足下では感染症の影響がみられる。

- 世界的な自動車販売台数の減少から、自動車部品の生産量は減少しており、不足感は和らいでいる。4月以降は自動車工場の稼働停止もあり、さらに生産量が減少することから、人員の見直しが必要になってくる可能性がある。(輸送機械・大企業)
- 各テナントでは、売上減少や営業時間短縮などから、求人を控えている店舗が多く、特にパート・アルバイト率が高い飲食店では、人員・労働時間を減らしている。一方で、今後状況が改善し人手不足になった場合に備えて人員を確保しておく必要もあり、すぐに人員削減することも難しい状況。(ショッピングセンター・大企業)
- 飲食店などでシフトが減ったアルバイトが、コンビニに流れてきており、人手不足が緩和してきている。(小売・大企業)
- 予約のキャンセルが続いており、3月以降は学校休校で子どもの面倒をみる必要があるスタッフを中心に休んでもらっている。(宿泊・中堅企業)

- **設備投資** 「元年度は前年度を上回る見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」令和2年1-3月期  
製造業では、情報通信機械などが前年度を下回っているものの、電気機械、鉄鋼などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。非製造業では、電気・ガス・水道、建設など、ほとんどの業種で前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 国内工場全体的な生産能力増強投資のほか、生産管理システム構築にかかるソフトウェア関連投資を実施。  
(電気機械・大企業)
- 成長分野である商業施設・物流施設・賃貸事業の不動産開発投資などを実施。  
(建設・大企業)

- **企業収益** 「元年度は減益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」令和2年1-3月期  
製造業では、輸送用機械、生産用機械など、ほとんどの業種で減益となることから、全体では減益見込みとなっている。非製造業では、運輸・郵便などが増益となるものの、情報通信、卸売などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

- **住宅建設** 「前年並みとなっている」  
新設住宅着工戸数でみると、貸家などが減少しているものの、分譲マンションなどが増加していることから、前年並みとなっている。

- ここ最近ホテルとの用地取得競争が落ち着いてきているため、以前よりもマンション用地は取得しやすくなっている。  
(調査会社)

- **輸出** 「前年を下回っている」  
管内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、アメリカ向けの建設用・鉱山用機械やアジア向けの原動機などが減少していることから、前年を下回っている。なお、輸入は、前年を下回っている。

【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査(令和2年1~3月期調査)の景況判断B S Iでみると全産業では「下降」超となっている。先行きについて、2年4~6月期は、全産業では「下降」超の見通しとなっている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額でみると、市町村や府県などで増加していることから、前年を上回っている。
- **金融** 貸出金残高は、前年を上回っている。
- **消費者物価** 大阪市の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)でみると、光熱・水道などが下落しているものの、食料などが上昇していることから、前年を上回っている。
- **企業倒産** 倒産件数は、前年を上回っている。

3. 各府県の総括判断

	前回(2年1月判断)	今回(2年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
大阪府	緩やかに拡大しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある		新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は急速に減少しているほか、生産活動は減少している。雇用情勢は改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。
京都府	緩やかに拡大しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある		新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は急速に減少しているほか、生産活動は減少しており、雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。
兵庫県	緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある		新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は急速に減少しているほか、生産活動は減少している。雇用情勢は急速に新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。
奈良県	緩やかに回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある		新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は急速に減少しているほか、生産活動は減少している。雇用情勢は改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。
和歌山県	緩やかに回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある		新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費及び生産活動は減少しており、雇用情勢は改善の動きに一服感がみられる。
滋賀県	回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある		新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は急速に減少しているほか、生産活動は減少しており、雇用情勢は改善の動きに一服感がみられる。